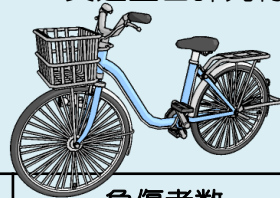


交通安全情報

熊本県警察

交通企画課発行



● 県内の交通事故発生状況（令和4年5月末）

	発生件数	死者数	負傷者数
熊本県内の交通事故発生状況	1214件(-15件)	18人(+2人)	1490人(-17人)
上記のうち、 自転車に関係した交通事故	191件(+16件)	1人(±0人)	193人(+16人)
「小学生」が乗車する自転車 が関係した交通事故	5件(-3件)	0人(±0人)	5人(-3人)
「中学生」が乗車する自転車 が関係した交通事故	14件(+2件)	0人(±0人)	15人(+3人)
「高校生」が乗車する自転車 が関係した交通事故	44件(+17件)	0人(±0人)	45人(+16人)

中高生が増加傾向

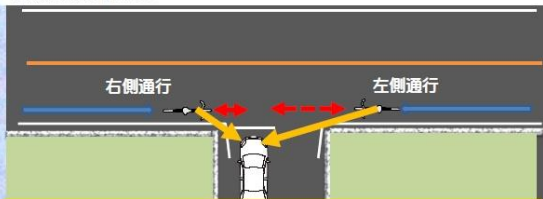
※ 前年同期比の数値を()内に記載しています。

右側通行の危険性について

右側通行の危険性①

出会い頭の交通事故の危険性が高まる

右側通行は、左側通行時と比較して、相手車の発見から回避（ブレーキ）まで時間的・距離的に余裕がなく、発見した直後に衝突する可能性もあります。

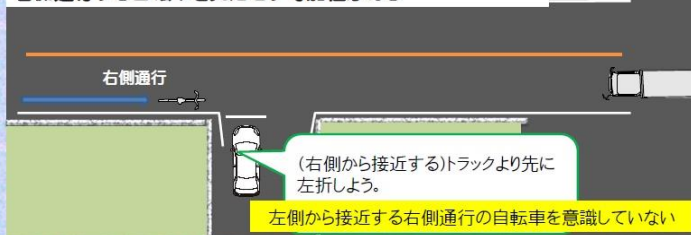


自転車側が最初に相手の車を発見できる位置関係（イメージ）
左側通行の自転車の方が回避措置が講じやすい

右側通行の危険性②

出会い頭の交通事故の危険性が高まる

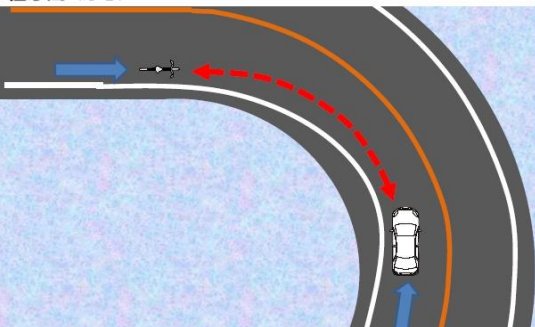
自動車側のドライバーの心理として、右側から接近する車を強く意識する傾向にある（特に左折の際）
そのため、左側に対する安全確認が不十分なドライバーが右側通行する自転車を見落とす可能性がある



右側通行の危険性③

正面衝突の可能性が高くなる

相対して進行するため、短時間で接近し、回避行動が講じにくく、正面衝突の可能性が高い。
（特に自転車側から見て右カーブの場合は、正面衝突の危険性が高くなる）



右側通行の違反者に対して警告・指導する状況
※違反者はイラストに差し替えています